

史跡 午王山遺跡保存活用計画 点検管理表（総括表）

分類	点検項目	点検内容	令和 6 年度自己点検結果
保存	○史跡の維持管理	史跡内は第 6 章の地区区分と取扱方針に沿って適切に維持管理されているか	このまま継続
	○追加指定と公有化	史跡の追加指定、公有地化は適切に推進されているか	
	○遺構・遺物の保存・管理	遺構・遺物は適切に保護されているか	
	○調査・研究の継続	午王山遺跡に関する調査・研究が継続して行われているか	
活用	○生涯学習の場での活用	生涯学習の場として活用されているか (講座やフィールドワークの開催など)	このまま継続
	○学校教育の場との連携	学校教育の場で活用しやすくする仕組みは適切か (活用しやすくするための工夫など)	
	○遺物の活用	展示するなど、遺物は活用できているか	
	○情報発信	情報発信は適切に行われているか	
	○周辺文化財と連携した活用	周辺文化財と連携した活用はできているか	
整備	○整備基本計画等の策定	基本整備計画等は策定されているか	このまま継続
	○整備の方法	整備は史跡の保護を前提として行われているか	
	○自然環境・景観への配慮	整備は自然環境や景観に配慮して行われているか	
	○ガイダンス施設の設置	ガイダンス施設は設置されているか	
	○段階的な整備	整備は住民生活に配慮して段階的に行われているか	
	○短期的な整備	ARやVRなどITを導入して短期的な整備を行っているか	
	○案内看板等の整備	案内看板等は適切に整備されているか	
運営・体制 の 整備	○見学環境の整備	見学環境は整備されているか	このまま継続
	○保存・活用に関する管理体制	保存・活用の体制は適切か	
	○国・県・市関連部局の連携	国・県・市関連部局と連携が図られているか	
	○様々な機関等との連携	学校や研究機関、研究者や周辺自治体など、様々な機関と連携が図られているか	
	○市民との連携・協働	市民の理解と協力を得て、午王山遺跡を支えていける体制ができているか	



分類Ⅰ 保存

取組内容・状況	(Ⅰ) 史跡の維持管理
	史跡地内管理地についてシルバー人材センターに委託するなどし、適宜除草・防草を行った。
	(Ⅱ) 追加指定と公有地化
	【追加指定】 新たに509.23㎡の土地が追加指定された【令和6年10月11日付文部科学省告示第146号】。 【公有地化】 新たに約961.30㎡の史跡指定地を公有地化した。
	(Ⅲ) 遺構・遺物の保存・管理
	保存目的調査を実施した。確認された遺構については、山砂によって埋めもどす保存措置をとった。また、検出した環濠の断面土層を剥ぎ取り保存した。 出土遺物は適切に保存・管理している。
	(Ⅳ) 調査・研究の継続
	保存目的の確認調査を実施した。調査については「午王山遺跡調査指導委員会」の指導・助言を受けながら行った。

参考数値	取組内容	目標値	現状値 (計画策定時)	実績値（累計）				
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	指定地面積	約26,000㎡	15765.60㎡	18030.01㎡	18092.30㎡	18601.53㎡		
	公有地化面積	約26,000㎡	4255.7㎡	4779.47㎡	5861.89㎡	6823.19㎡		

評価	生涯学習課による評価（自己評価）
	このまま継続して午王山遺跡の保存・活用を行う。
	文化財保護委員会による意見等



午王山遺跡保存目的調査の様子



剥ぎ取り保存した環濠の断面

分類2 活用

取組内容・状況

	(1) 生涯学習の場での活用
	国史跡午王山遺跡で実施している保存を目的とした発掘調査の現場を公開したほか、おとどけ講座等で午王山遺跡について周知した。 ■午王山遺跡を内容に含む講座等の実施数：4回 ■のべ参加者数：131人
	(2) 学校教育の場との連携
	市内学校教員の研究会に講師を派遣し、弥生時代の社会と午王山遺跡についての解説を行った。
	(3) 遺物の活用
	出土遺物の一部を市役所4階の展示ケースで展示した。 また、外部からの依頼に基づき遺物の写真提供を行った。
	(4) 情報発信
	・「午王山遺跡だより」を発行した。 発行回数：3回（令和6年6月25日、11月1日、令和7年3月5日）
	(5) 周辺文化財と連携した活用

参考数値	取組内容	実績値（単年度）				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	講座等の参加者数（人） ※午王山遺跡についての内容を含むもののみ	68	296	131		
	「午王山遺跡だより」の発行号数（部）	3	3	3		

評価	生涯学習課による評価（自己評価）
	このまま継続して午王山遺跡の保存・活用を行う。
	文化財保護委員会による意見等



午王山遺跡発掘現場見学会の様子（令和6年11月23日）



「午王山遺跡だより」Vol.8



分類3 整備

取組内容・状況

	(1) 整備基本計画等の策定
	整備基本計画については未策定である。 令和7年度からは整備基本計画策定に向けた課題整理等を開始する。
	(2) 整備の方法
	本格的な整備は整備基本計画を策定した後に行う。 暫定的な整備（案内看板の設置等）については、史跡の保護を前提に行っている。
	(3) 自然環境・景観への配慮
	本格的な整備は整備基本計画を策定した後に行う。
	(4) ガイダンス施設の設置
	ガイダンス施設の設置に向けて用地の確保等について引き続き調整する。
	(5) 段階的な整備
	本格的な整備は整備基本計画を策定した後に行う。 整備までの間、防草シートの敷設等は適宜実施する。
	(6) 短期的な整備
	ARやVRを導入する整備は実施に至っていない。
	(7) 案内看板等の整備
	これまでに設置した看板の維持等に努めた。
	(8) 見学環境の整備
	公有地化した土地の一部について、試験的に防草人工芝等を敷設している。 令和6年度は保存目的調査で確認された環濠の位置に防草人工芝を敷設し、実験的な遺構明示を試みた。

参考数値	取組内容	実績値（累計）				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	案内看板等の設置数	3	3	3		

評価	生涯学習課による評価（自己評価）
	このまま継続して午王山遺跡の保存・活用を行う。
	文化財保護委員会による意見等



公有地境界への防草シートの設置



環濠の推定ラインに敷設した防草人工芝

## 分類4 運営・体制の整備

取組内容・状況	(1) 保存・活用に関する管理体制
	新たに有識者による「午王山遺跡調査指導委員会」を設置し、午王山遺跡の保存目的調査等について指導・助言を得る体制を構築している。なお、調査指導委員会は3回開催した。
	(2) 国・県・市関連部局の連携
	「午王山遺跡調査指導委員会」にオブザーバーとして文化庁、埼玉県から参加いただいているほか、適宜連絡・相談を行った。
	(3) 様々な機関等との連携
	全国史跡整備市町村協議会に加盟しており、各地の史跡整備状況等について情報収集を行った。令和6年度は、多賀城市で開催された第59回全国史跡整備市町村協議会大会に参加し、整備事例の情報収集等を行った。
	(4) 市民との連携・協働
	市民との連携・協働については今後の課題である。

参考数値	取組内容	実績値（単年度）				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	午王山遺跡調査指導委員会の開催	3	3	3		

評価	生涯学習課による評価（自己評価）
	このまま継続して午王山遺跡の保存・活用を行う。
	文化財保護委員会による意見等



調査指導委員会による現地指導・助言（令和6年6月20日）



調査指導委員会の様子（令和6年11月12日）